

文化庁・CODA が開発した話題のカードゲーム

著作権を学ぶ

ちょさくけん

カードゲーム?!

HIT PLAN

ヒットプラン

親子ゲーム会



©2026 CODA

マンガやアニメなど、身近なコンテンツを題材に、カードゲームを楽しみながら著作権や海賊版について学ぶ体験講座です。

何気なくインターネットで見つけた画像を SNS などに使うことが実は著作権侵害になる場合もあります。

お子さんに正しい情報を伝えるために、大人にも知って欲しい内容です。

2026年 9月 12日 (土)
14:00-17:00

場所：富士見町コミュニティプラザ 大会議室

対象：小学4年生以上の親子・一般

定員：15組 / 30名

参加費：無料 持ち物：筆記用具

申し込み：右下の二次元コードまたは富士見町公民館（コミプラ内）電話 62-7900 へ。事前申し込みが必要です。

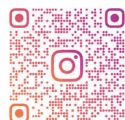


※本講座では、文化庁・一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）が製作したカードゲーム「HIT PLAN」を使用します。



講師 Jampopo ノブ

親子で楽しめるボードゲームの魅力を発信。
学校・行政・地域活動の中で、ボードゲームを活用した学びの場づくりを実践中。



公式 HP : jampopo.com

▼申し込みはこちら▼



HIT PLAN ってどんなゲーム?

人気コンテンツの権利を獲得して得点しよう！しかし、そのコンテンツは犯罪組織に狙われている。海賊版対策をするか、自身の企画を発展させるか。スリリングな判断が試されるバッチングゲーム！

文化庁・CODA の取り組み

本講座で使用する「HIT PLAN」は、文化庁の委託事業の一環として、著作権の啓発を目的に、日本発コンテンツの海賊版対策に取り組んでいる一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）が企画・開発したカードゲームです。

学校の先生や保護者の方に知ってほしいこと

「HIT PLAN」は、身近なアニメやマンガといったコンテンツを企画して得点していくゲームです。

ゲーム内では企画を邪魔してくる海賊版サイト等の犯罪組織が登場します。ゲームには実社会の様々な侵害の形態や、これらに対する侵害対策などの要素もあり、ゲームを楽しみながら著作権や社会課題について学ぶことができます。

学校やご家庭で、自分だけでなく他者の作品も大切にする意識を育てる学びのきっかけを創出します。



イラスト：あらめけいいち ©2026 CODA

ゲームで学べる 3つのポイント



著作権と海賊版の基礎

コンテンツの権利やその侵害についてゲームを通じて楽しく理解できます。



作品を守る大切さ

クリエイターの権利を守ることが、未来の新しい作品に繋がることを学べます。



家庭・学校での伝え方

日常で触れ合うコンテンツとの関わり方について学校や家庭で話し合うきっかけを創出します。

講座の流れ（予定）

1 HIT PLANの紹介



ゲームの目的や世界観を紹介します。

2 ルール説明



カードの種類やルールをわかりやすく説明します。

3 体験プレイ



実際にゲームを体験して、学びを深めます。

4 ふりかえり



学んだことをみんなでふりかえります。

HIT PLAN

ゲームデザイン：カナセイジ

イラスト：あらめけいいち

グラフィック：別府さい

編集：刈谷圭司（合同会社ハーベストバレー）

監修：前田哲男（染井・前田・中川法律事務所）

製作：文化庁／一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）

プロデューサー：瀧口太郎（CODA）

印刷：JELLY JELLY PRINT

▶ 動画によるルール解説や、より詳細なルールはこちら

<https://youtu.be/wdpoEEb6e7A>

